

令和2年度アレルギー疾患対策推進協議会

国立病院機構福岡病院の取組

1. 令和2年度アレルギー疾患対策医療全国拠点病院連絡会議におけるモデル事業 - 国立病院機構福岡病院 -
2. 花粉飛散量、及び患者受療状況
- 全国年間、九州 春 -
3. アレルギー疾患有症率調査（経年）
- 西日本、福岡 -
4. 他組織との共同活動
- 日本アレルギー協会九州支部との例 -

① アレルギー疾患患者や家族等に対する相談対応

福岡県アレルギー相談センター（新規）

開設日	受付方法	回答方法	回答者
令和2年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> 電話（週2回） FAX（随時） Mail（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> 電話 受付後1週間以内 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー専門医 PAE（看護師）

相談内容内訳（令和2年7月～12月）

月	受付			疾患						計
	電話	FAX	Mail	食物アレルギー	気管支喘息	アトピー性皮膚炎	蕁麻疹	アレルギー性鼻炎	その他	
7月	8	1	4	4	2	1	2	1	3	13
8月	6	1	2	4	0	1	0	0	4	9
9月	4	1	2	3	0	0	1	0	3	7
10月	16	0	4	9	4	2	1	0	4	20
11月	19	3	4	6	1	1	1	1	16	26
12月	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2
計	53	7	17	28	7	5	5	2	30	77

年齢分布 小児： 25 例（28.4%） 成人： 63例（71.6%）

② アレルギー講習会(医療従事者対象)

<p>概要</p> <p>e-Learning形式、全6回 ※ 第1～3回:令和2年12月までに終了 第4～6回:令和3年1月・2月に開催予定 総集編:令和3年3月(2日間) 取得可能単位 日本アレルギー学会 日本医師会生涯教育</p>	<p>受講対象者</p> <p>アレルギー疾患診療・療養指導に従事する医療従事者 市区町村担当者 保健指導従事者</p> <p>登録者数:724名(令和3年1月6日現在) 職種:医師、薬剤師、看護師、助産師、栄養士、保健師</p>
<p>講師</p> <p>アレルギー専門医 PAE(看護師・薬剤師・管理栄養士)</p>	<p>内容(テーマ)</p> <p>食物アレルギー 気管支喘息 アトピー性皮膚炎</p> <p>アレルギー性鼻炎 アレルギー性結膜炎 蕁麻疹</p>

※ 第1回・第3回は、アレルギー疾患の過去から現在への変化をテーマに、経験豊かな講師が対談形式で講演

The collage displays six posters for the Fukuoka Allergy Seminar (Web Seminar) series:

- 第1回 (2021年11月8日~14日):** 「アトピー性皮膚炎の病態と治療 皮膚バリア破壊」, 「食物アレルギーの総論 最近の知見」. 講師: 西郷 三郎 先生.
- 第2回 (2021年11月30日~12月7日):** 「成人の食物アレルギー」, 「食物アレルギーの栄養食指導の実践」. 講師: 金子 麗美 先生, 松村 雅美 先生.
- 第3回 (2020年12月14日~21日):** 「PM2.5の健康影響」, 「興隆とPM2.5におけるアレルギー疾患との関わり」. 講師: 和田 瑞 先生, 藤川 穂子 先生.
- 第4回 (2021年1月12日~19日):** 「アトピー性皮膚炎とアレルギーマーチ」, 「患者・家族とのパートナーシップに立つ実践 「アトピー性皮膚炎患者への介入」」. 講師: 藤川 穂子 先生, 中田 尚典 先生.
- 第5回 (2021年1月25日~21日):** 「スギ花粉症と舌下免疫療法」, 「アレルギー性結核疾患の最近の話題」. 講師: 押川 千恵 先生, 内尾 英一 先生.
- 第6回 (2021年2月16日~22日):** 「小児喘息の最新知識」, 「吸入指導 ～患者さんを支援する～」, 「成人の気管支喘息」. 講師: 手塚 純一郎 先生, 中島 雅希 先生.

③ アレルギー疾患に対する情報提供

市民公開講座 「呼吸器アレルギー教室」(変更)

福岡病院アレルギーセンター ホームページ(新規)

市民公開講座の会場開催を中止

アレルギー疾患に関する情報

フリーペーパーを作成(全16ページ)

スキンケア方法の解説

福岡県庁及び福岡県内市区町村役所に配布

花粉情報



④ アレルギー疾患に係る診断等支援

	保健所とのネットワーク形成	エピペン講習
従前の取り組み	乳児検診時に保健所に訪問して、対面でアレルギー相談を実施	希望する学校等に訪問して、対面講習会を開催
今年度の取り組み	動画DVD作成して、保健所に配布	動画DVD作成して、学校に配布
	アトピー性皮膚炎・スキンケア 自宅でのケア方法 等 食物アレルギー 離乳食の開始、食事の進め方 等 病院受診の適切なタイミング ※ 受診者(保護者)にもわかりやすい内容	e-Learningを計画中

食物アレルギーの症状

蕁麻疹のような症状からアナフィラキシーのような命にかかわる症状まで様々であり、即時型と非即時型がある。

食物アレルギーの症状
食物アレルギーでは、以下のような、全身の多様な症状が現れます。

1.皮膚の症状 かゆみ、じんましん、発赤、腫脹	5.呼吸器症状 息が苦しい、咳、ゼーゼーする、のどのつまった感じ、声がかた
2.腸の症状 結腸の発赤、かゆみ、満、赤痢などの腹痛	6.消化器症状 嘔吐、ほおげ、嘔吐、下痢、吐き
3.口・のどの症状 口の内の腫れ感、腫れ、のどのゆずり、イガイガ感	7.循環器症状 顔面、唇蒼白下、手足が冷たい、動悸
4.鼻の症状 くしゃみ、鼻汁、鼻づまり	8.神経症状 頭痛、発汗がない、くも膜下出血、不眠
	9.アナフィラキシー

アナフィラキシーが起こったら！

アレルギーです。〇〇室に来てください。

症状の現れ方や程度人で違います。過去きた症状を共有してと、症状が現れたと対応を判断する目安ります。

第一発見者の対応

- ・傍を離れない
- ・緊急性の判断(5分以内)
- ・症状の対応
- ・人を集める(大きな声で、確実に集める)

緊急性(エピペンが必要か必要でないか)を判断するまで、動かさない

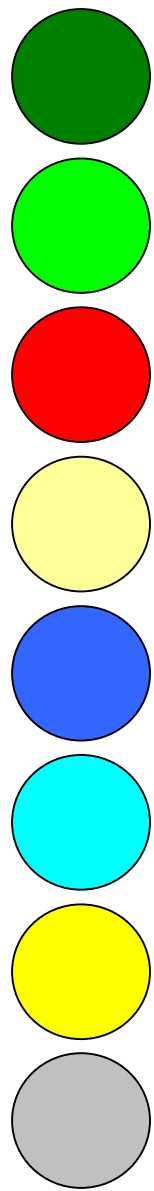
エピペン講習会

—アナフィラキシーの対応を含めて—

国立病院機構福岡病院
金子恵美
2020.11

日本列島の空中花粉分布 2014年1月～6月

Tree Season



Cryptomeria japonica
スギ

Curessaceae
ヒノキ科

Fagaceae
ブナ科

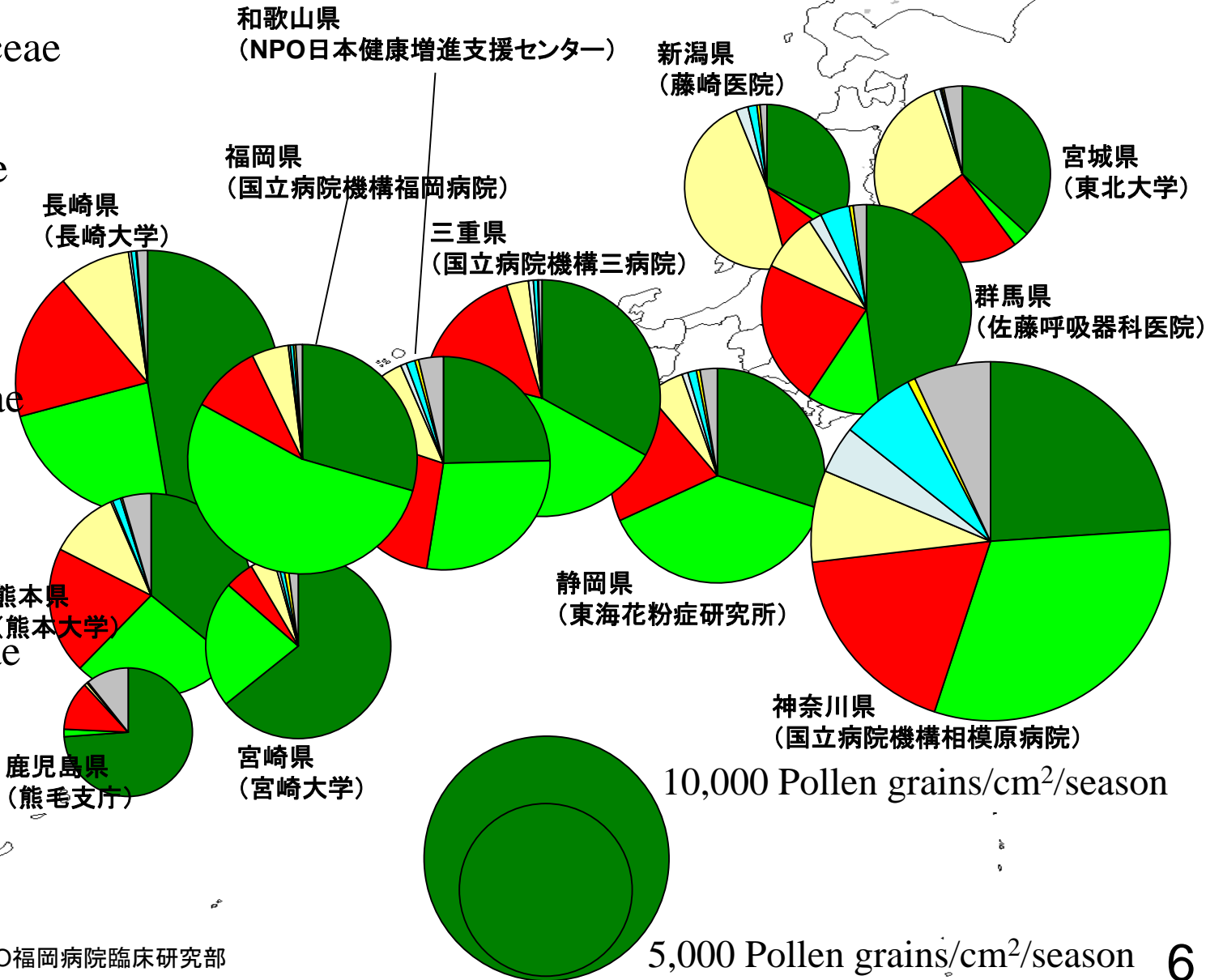
Pinaceae
マツ型

Betulaceae
カバノキ科

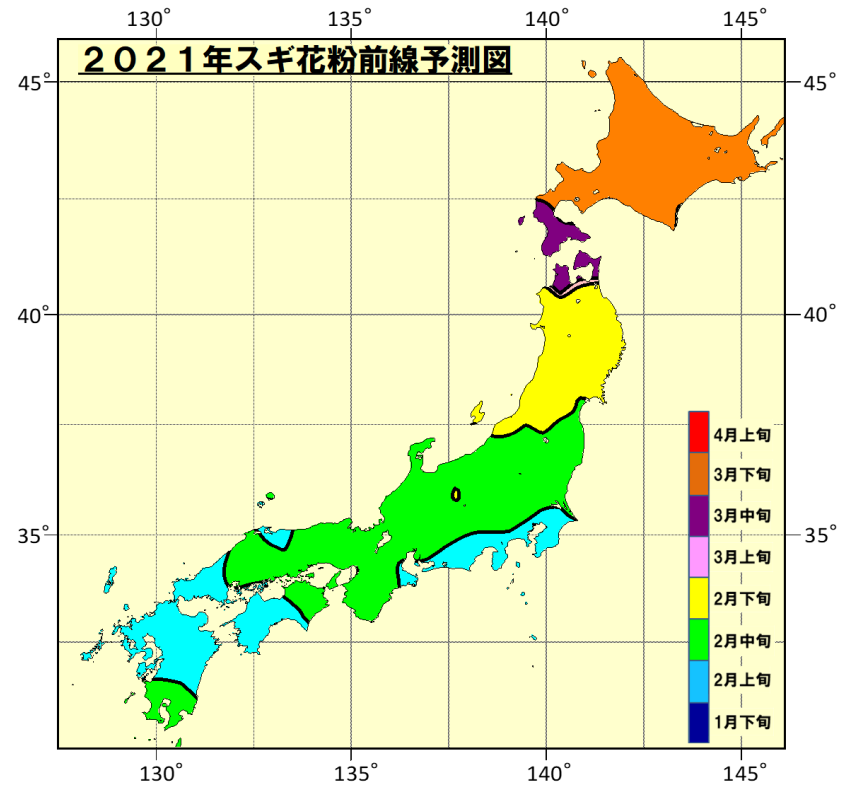
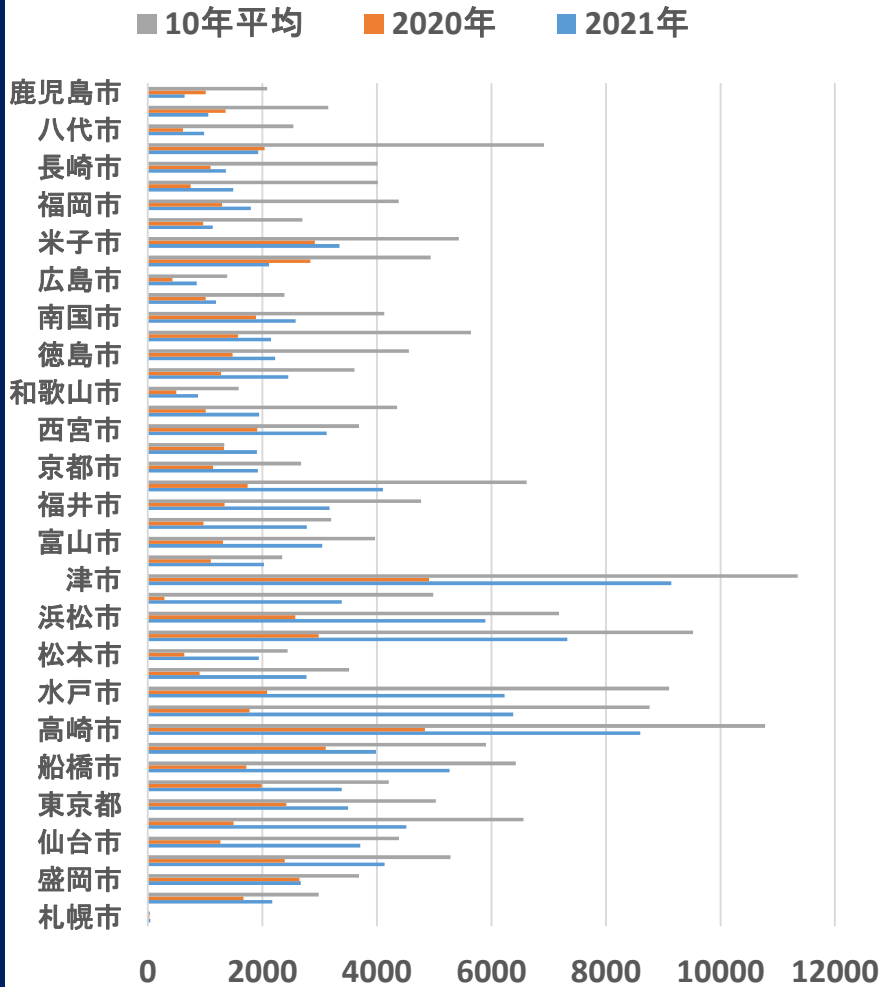
Ulmuceae
ニレ科

Gramineae
イネ科

Others



2021年スギ・ヒノキ花粉飛散予測



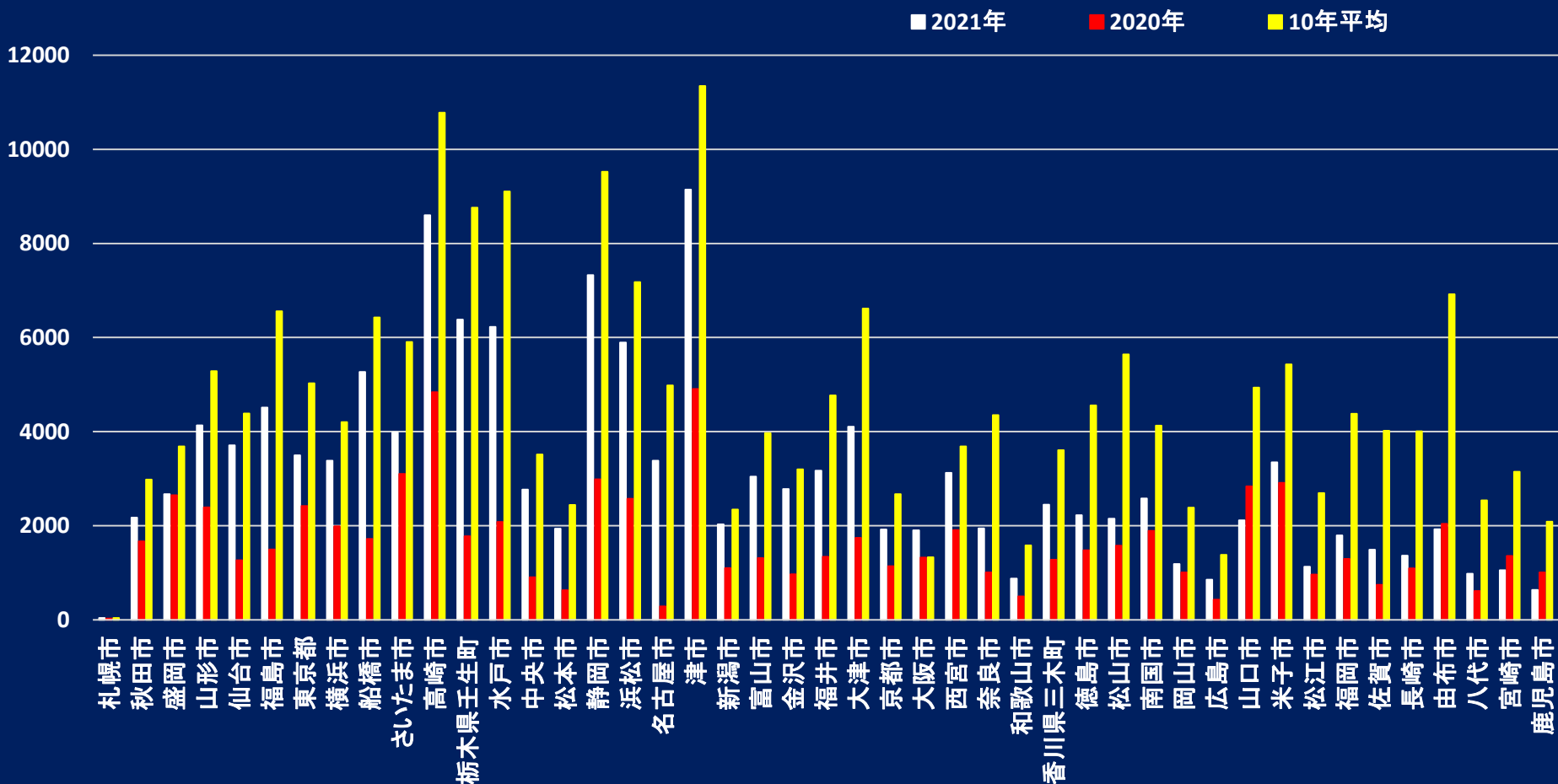
2021年スギ花粉前線予測図

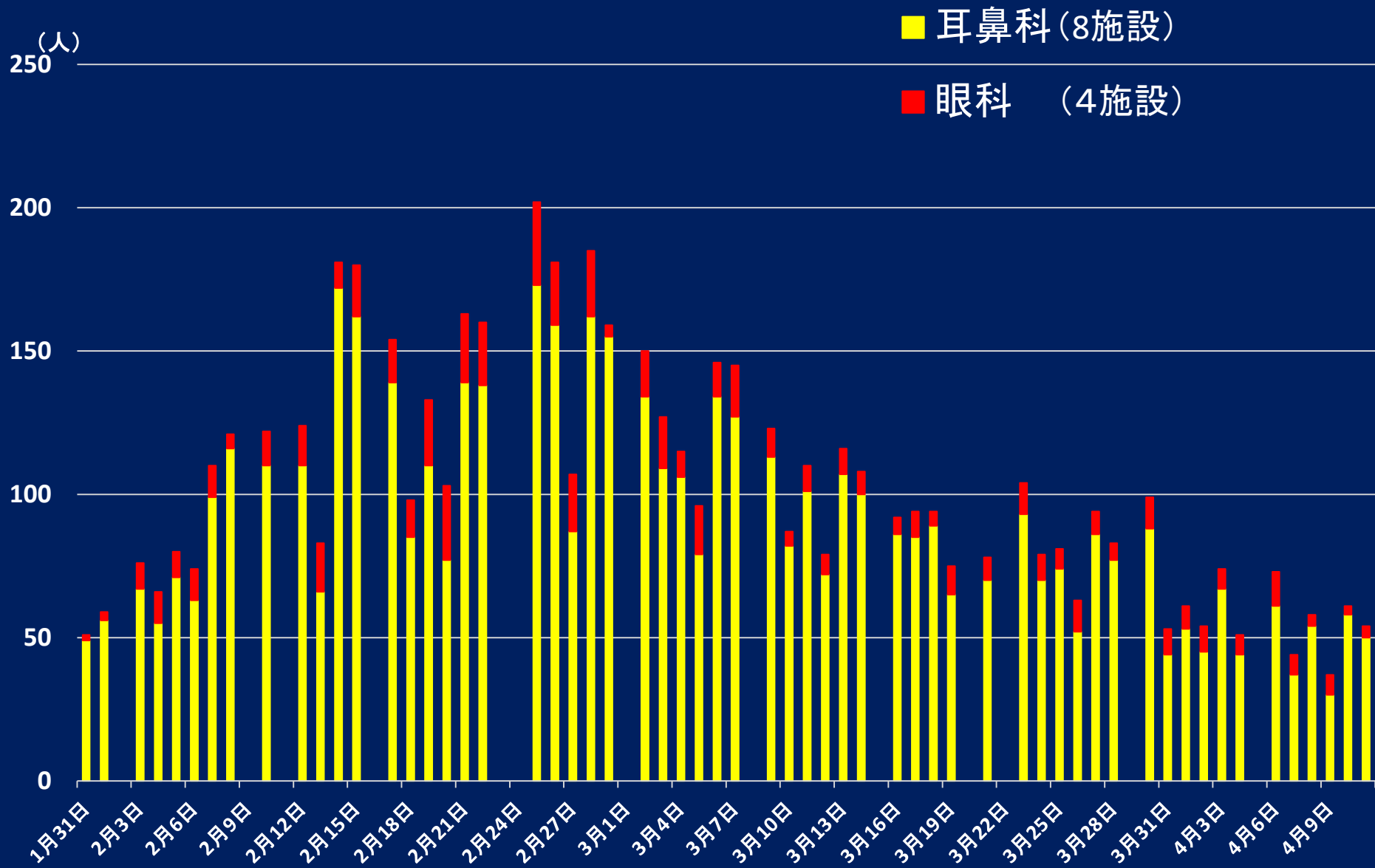
N P O 花粉情報協会資料 (2020.12.17))

全国各地の飛散予測

スギ花粉前線予想図

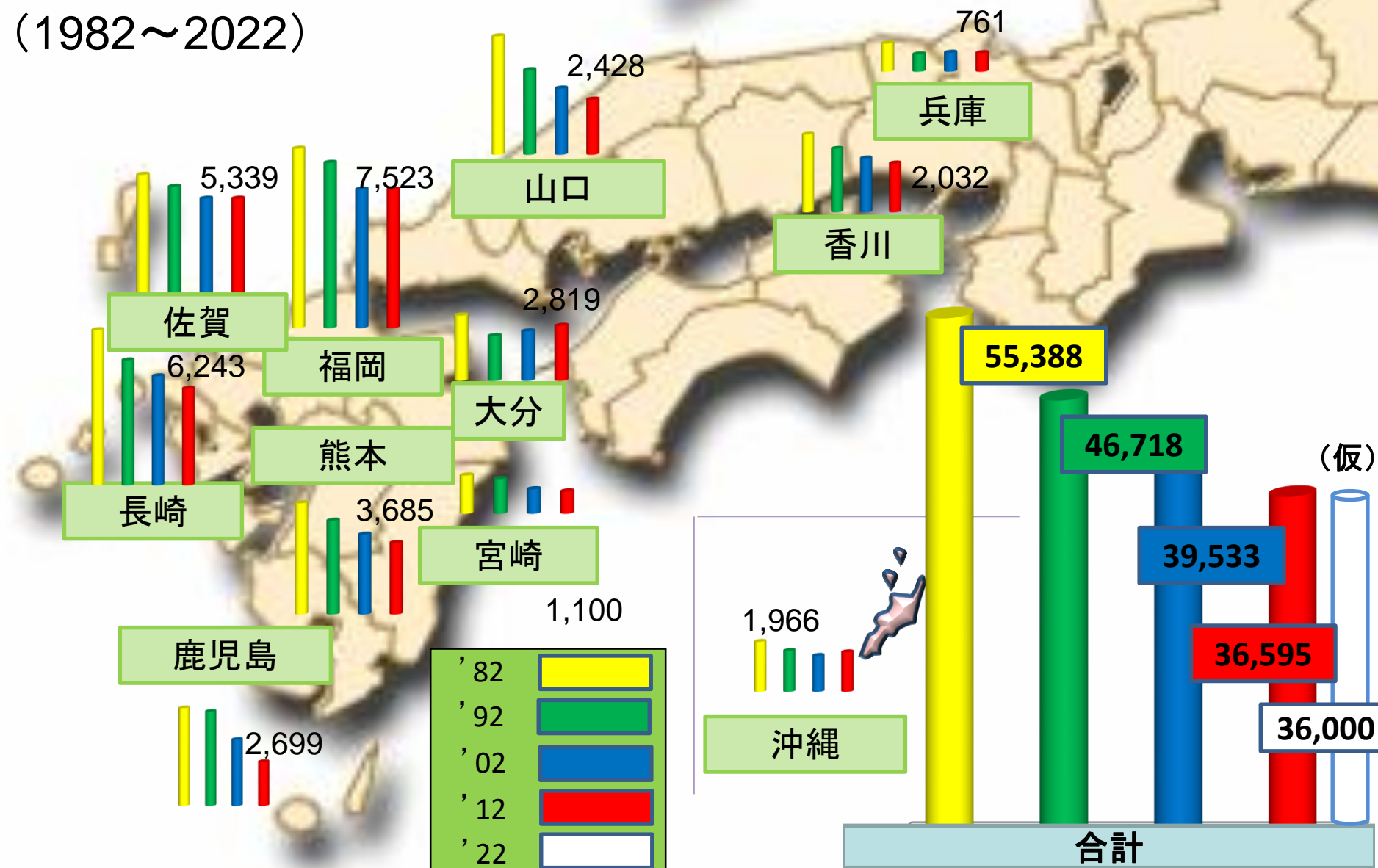
図1. 全国45地点の2021年スギ・ヒノキ花粉飛散予測及び前年の飛散数と過去10年平均値との比較





花粉飛散シーズンの耳鼻科,眼科クリニックへの花粉症患者受診状況
(2020年1月31日~4月10日,福岡県内)

第1回～第5回の西日本小学児童のアレルギー疫学調査対象人数 (1982～2022)



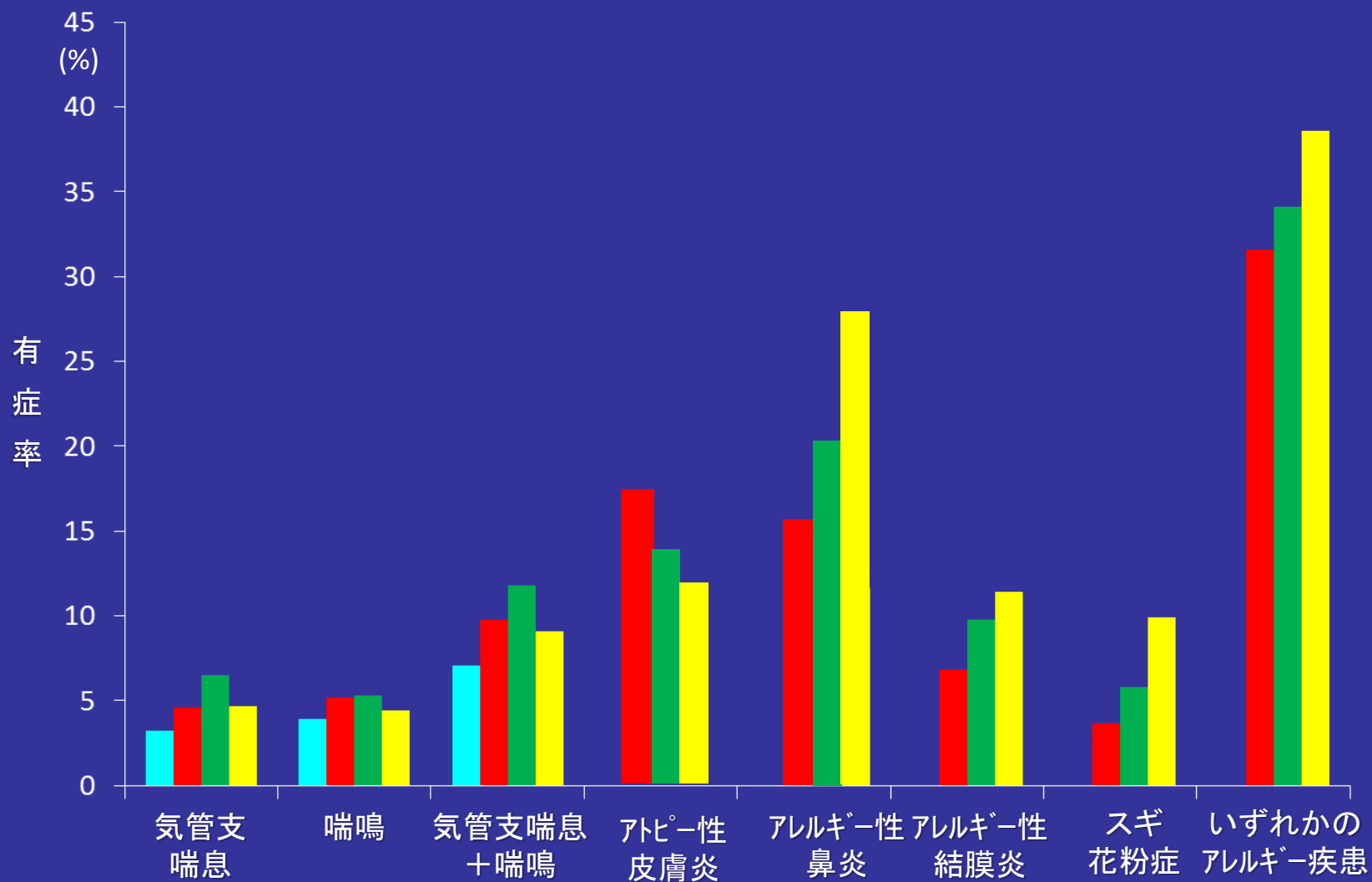
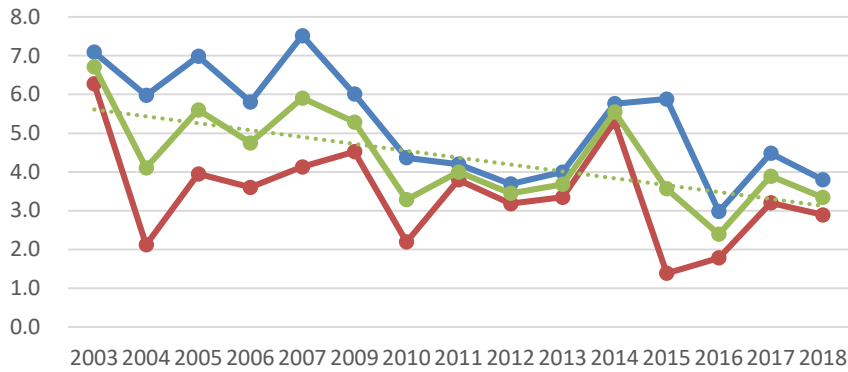


図6 1982, 1992, 2002, 2012年のアレルギー疾患有症率

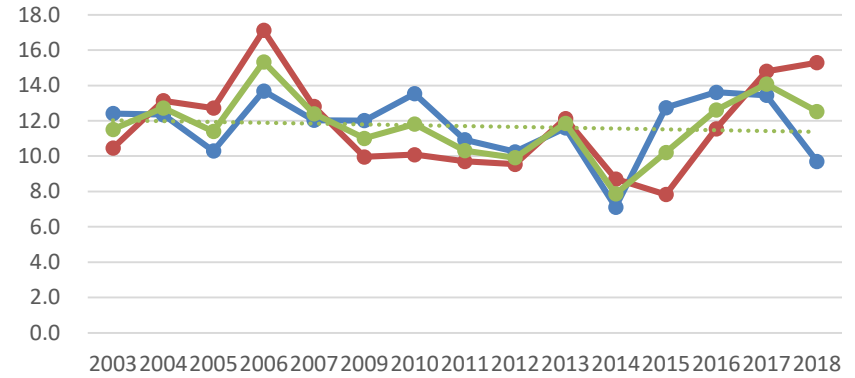
■ 1982年 ■ 1992年 ■ 2002年 ■ 2012年

喘息(%)



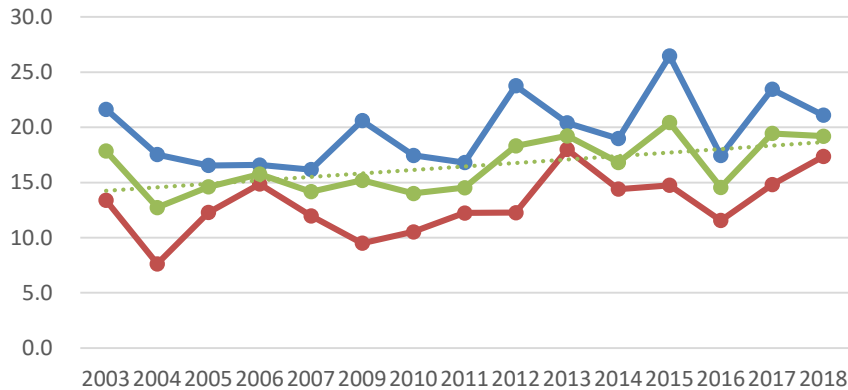
● 喘息(男) ● 喘息(女)
● 喘息(計) ⋯ 線形(喘息計)

アトピー性皮膚炎(%)



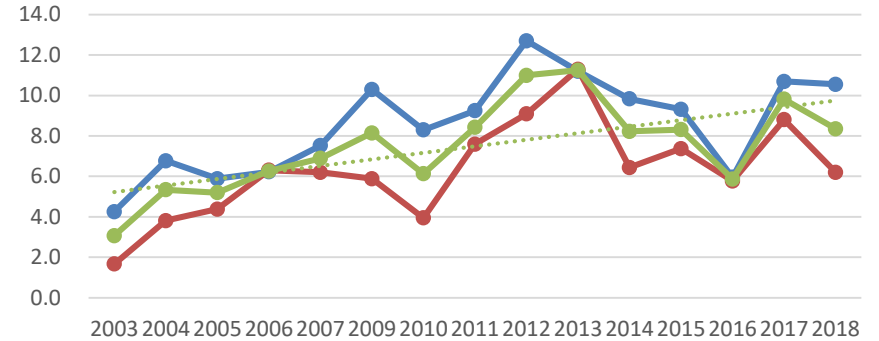
● アトピー性皮膚炎(男) ● アトピー性皮膚炎(女)
● アトピー性皮膚炎(計) ⋯ 線形(アトピー性皮膚炎計)

アレルギー性鼻炎(%)



● アレルギー性鼻炎(男) ● アレルギー性鼻炎(女)
● アレルギー性鼻炎(計) ⋯ 線形(アレルギー性鼻炎計)

花粉症(%)



● 花粉症(男) ● 花粉症(女) ● 花粉症(計) ⋯ 線形(花粉症計)

福岡市5小学校におけるアレルギー疾患有症率の推移(小学校1年生 n=1.600~2.000人)

第27回アレルギー週間記念講演会

今年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策の為WEB開催を致します。

開催期間: 令和3年2月17日(水)～令和3年2月23日(火)

開催期間中は日本アレルギー協会九州支部

ホームページ <http://www.allergy-fk.com/> でご覧いただけます。

対談 (第1部 各20分)

(総論) 久保千春*2・西間三馨*1
(喘息) 小田嶋博*7 西間三馨*1
(皮膚科) 杉山晃子*4・古江増隆*3 ・西間三馨*1
(耳鼻科) 押川千恵*6・宗 信夫*5 ・西間三馨*1
(食物アレルギー) 岡部貴裕*8・柴田瑠美子*7・西間三馨*1

演題 (第2部 各20分)

ストレスとアレルギー 久保千春*2
喘息 小田嶋博*7
アレルギー性鼻炎 押川千恵*6
眼のアレルギー 内尾英一*9
アトピー性皮膚炎 杉山晃子*4
食物アレルギー 柴田瑠美子*7

*1 日本アレルギー協会九州支部長・国立病院機構福岡病院名誉院長 *2 中村学園短期大学 学長
*3 九州大学大学院医学研究院・医学部 皮膚科教授 *4 国立病院機構福岡病院 皮膚科・福岡病院アレルギーセンター副センター長
*5 宗耳鼻咽喉科 院長 *6 国立病院機構福岡病院 耳鼻咽喉科 *7 国立病院機構福岡病院 小児科・福岡病院アレルギーセンター顧問
*8 小倉さくら病院 アレルギー科 *9 福岡大学医学部 眼科学教室 教授

問い合わせ先
公益財団法人日本アレルギー協会九州支部
〒811-1394
福岡市南区屋形原4-39-1国立病院機構福岡病院研修・情報センター内
TEL: 092-565-5534(内線272) FAX: 092-566-0194
E-mail: mail@allergy-fk.com ホームページ: <http://www.allergy-fk.com/>
主催 公益財団法人 日本アレルギー協会九州支部

令和3年度事業計画書

- ①全国約9カ所の年間を通じての各種空中花粉調査
 - ・福岡市2カ所の空中スギ花粉飛散調査と2医院による受療患者数調査
 - ・長崎県・大分県の大学耳鼻咽喉科によるスギ花粉飛散調査(33年目)
- ②九州全域のスギ花粉速報(九州各県医師会、気象協会と共同)(34年目)
- ③国立病院機構福岡病院における花粉補集器重力法2種、体積法1種におけるスギ花粉調査の比較、互換性の検討
- ④黄砂と花粉飛散についての検討

(日本アレルギー協会九州支部)